

## 学校再開までの3つのお願い

第2学年担任団

第2学年となりました。でも「学校がない」毎日が続いています。本校のように生徒のほとんどが寄宿舍で暮らす環境では再開が特に難しいことは容易に想像できます。元通りの形で学校を再開することは今のところ見通しがついていません。

したがって当面、生徒の皆さんには以下の3つをお願いします。

### 1 家で「学校生活」を送る。

学校へは行かないけれど、再開する日を待つのではなく、家庭で「学校生活」を送る。過ごし方の姿勢を切り替える時期が来たのです。「一時的」ではなく「ずっと」になる可能性も想定しなくてはいけないのです。

### 2 ホームページに掲載した時間割をもとに、学習課題に取り組む。

各科目の履修と修得を判断するためには、データが必要です。今はそれが課題です。今回送付した課題は、皆さんに学習の機会を提供するという目的の他に、評価の材料にするという目的もあります。もし、考査ができる状況になれば、その出題範囲にもなります。

### 3 新型コロナウイルスに罹患しない、保菌している可能性をゼロにする

学校再開へ向けて生徒の皆さんができることはそれだけです。いやむしろ、ひとりの例外もなく全員がこれを実現できないと以前の通りの学校は再開できないのです。またこれにより自分自身はもちろん、家族、友人、ひいては日本を救うのです（決して大げさではありません！）。

生徒の皆さん、上の3つを実行することが、今は一番の学びです。

このお願いが生徒の皆さんにとって、大変なことは承知しています。でも、現在の状況は歴史的一幕として将来振り返るような、一大事、大変な時なのです。

なお、学校、学年に関する情報は、引き続きホームページでお知らせします。こまめにチェックしてください。

次のページに続きます！

## 14期生2年次担任団

以下のメンバーです。宜しくお願い致します。

学年主任 大橋 いづみ 【英語】

2年A組 担任 山田 拓真 【英語】

副担 竹内 聖人 【国語】

2年B組 担任 佐藤 真郷 【水産】

副担 倉澤 聡 【水産】

HM学年担当 後日発表



次のページは山田先生からのお便りです！

## ロールキャベツ

2年A組担任 山田 拓真

**み**なさん、ロールキャベツの作り方を知っていますか？ 私の中で最近まで「**難しそうなお料理**」の王座に君臨していた料理です。ですが、皆さんと同様に学校以外は家から出られないのでcookpad等何も見ないで作ってみました。結果としては「**もしかして自分は天才なのかな…？**」と思うくらいおいしくできました。

さて、皆さんも二年生になります。三年生になると進路で頭がいっぱいになるでしょう。挑戦するなら今です。ロールキャベツを初めて作って喜んでいる担任に負けないようにいろいろなことにチャレンジしてください。人数が少ないからこそ充実した一年にしよう！

大事なことを言い忘れていましたが、今年度も引き続き14期の担任をさせていただきます。また一年間よろしくお願いいたします。



美味しいヨ！

次のページは佐藤先生からのお便りです！

## ～ Stand by for leaving port ～

2年B組担任 佐藤 真郷

**新**学期が始まろうとした矢先の緊急事態宣言となり、新体制として出港ができず残念です。しかしながら、いつ出港指示が出ても良いように備えておくことが必要です。皆さんも課題等をこなし、いつでも再開できるように準備をして下さい。

私も授業再開に向けてしっかり準備をしていますよ。えっ!?どんな準備か?それは昨年台風15号の影響で水没した海図の復旧です。水没した海図は全て廃棄処分になってしまいましたが、新しく海図を購入してもらえたので、その整理整頓を行っています。その枚数は何と220枚です。一つ一つが大切な教材なので、しっかりと管理を行うための準備をしています。

ちなみに海図の管理ですが、購入したからといってそのまま放置される訳ではありません。海図は常に最新の状態を保つように、日々更新しなければ航海で使用することができません。この更新作業が海図を管理する上で重要なのです。毎週金曜日に海上保安庁が「水路通報」といって、海図上で変更すべき箇所を一覧で発表します。そして所持している海図に変更の必要があれば、手書きでかつボールペンで変更します。この作業のことを海補といいます。海図を所持している船舶は必ず行っています。

海補ですが、正確に丁寧にそして継続して行うことが求められます。

皆さんもこの自宅学習期間を通じて、何か一つ継続して行うことに挑戦してみても如何でしょうか?

※Stand by for leaving port : 出港用意のこと

## 船の豆知識

日本人が初めて作った「第1号海図」は、日本海軍が自らの手で初めて測量し、明治5年に刊行した「陸中國釜石港之圖」で、現在の岩手県釜石港です。釜石港は当時、東京～函館間の中間地点として重要な港であり、高炉による鉄の生産に成功し、官営製鉄所建設の直前であったため、第1号海図の対象港になったと言われています。京浜港や阪神港で無かったのが意外ですね。ちなみに当時の水深の単位には尋(1.8m)が用いられていました。現在の海図はメートルが採用されていますが、国によっては、例えばアメリカが発行している海図の水深の単位は尋(英語ではFathom)が採用されています。

もし船で外国の港に入港する際には、水深の単位に注意して下さい。

次のページは国語科・英語科からのお知らせです。

## 【国語科より】

国語科 臨時休校課題の訂正

プリント【2学年 国語科 臨時休校課題について】に記載した内容に誤りがありました。  
下記の通りに訂正します。

訂正内容

〈古典B〉2A全員 → 〈古典B演習〉古典B演習選択者のみ

## 【英語科より】

総合英語・異文化理解課題 提出〆切の訂正

課題冊子（犬の写真付き）の1ページ目「自習期間の課題について」に提出日が4月20日～22日頃とありますが、後日ホームページ等でお知らせするまで延期します。そのまま保管しててください。

## 【編集後記】

通常は保護者の皆様へのご報告という性格の強い学年通信ですが、今回は生徒へのお知らせとお便りを中心とした内容となりました。保護者の皆様には、先の見えない現状でお子様の学習や生活に大きな不安を抱えた状況であり、また時によってはご家庭内が陰鬱になったり険悪になったりすることもあるのではないかと、担任団一同心配しております。それもあって今回リラックスした内容を盛り込んでいます。生徒たちに（保護者の皆様にも）、ほっと一息楽しく読んでもらえたら幸いです。くれぐれも、ご家族皆様で健康にお過ごしください。（大）